

# 乙 頁

昭和57年5月31日発行

乙頁第6号

守山市立埋蔵文化財センター

(守山市服部町1318番地)

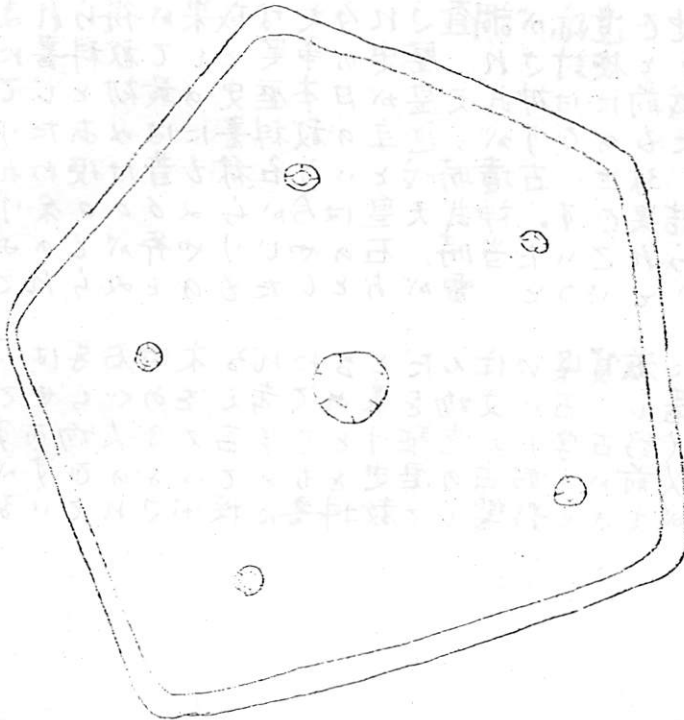
0775-85-4397

## ◎ 伊勢遺跡で五角形住居を発掘

埋蔵文化財センターで発掘調査を進めていた伊勢町の伊勢遺跡で、この程、弥生時代後期(1800年前)の竪穴式住居跡がみつかりました。この住居跡は五角形の形で、面積は約50㎡でした。住居内からは壺や甕、高坏など保存状態の良好な土器と礫石が出土しました。

五角形住居は伊勢遺跡中東浦地区でもかつて1棟みつがっていて、今回で2例目です。住居内には支柱穴が5本分、土痕が中央と隅に方1ヶ所みとめられましたが、炉跡は不明瞭でした。

出土した土器は長頸壺、高坏など、ほぼ完全な形をみつかり、住居内に遺存していたので、当時の生活用品であることがわかります。



# ○ 遺跡紹介シリーズ ( 岡田寺遺跡 ) 五十音便

市の土地開発公社が岡田寺前で宅地造成と計画した地で、事前に確認調査を実施したところ、柱穴や遺跡が見つかった。そこで発掘調査を実施した。調査では上・下の二層の遺構が見つかり、上層は平安時代末から鎌倉時代、下層は古墳時代後期の集落跡であった。

下層は合計 23 棟に達する竪穴式住居と 1 棟の掘立柱式建物で、竪穴住居内には中央付近に炉跡が見つかり、4 本の土柱穴と 1 ～ 2 ヶ所の野焼穴が見つかった。住居内には少量の土器が残っており、住居が 6 代の中頃のものとあることがわかった。

上層は掘立柱式建物と井戸跡からは、1 棟以上の建物の存在が考えられる。井戸跡は桶型の 1 差と縦板の 1 差があり、桶型はもともと石組をしいたものとみられる。上層の遺構に関連する土器の中に知多半島の常滑焼の壺が見つかった。

これらから宗山市の内陸部には古墳時代後期の集落が数多く展開し、中でも岡田寺は近くに寺山古墳群もあり、豪族の成長がうかがわれる重要な遺跡である。

## △ 遺跡の成果が教科書に !!

し 字 至 まで

戦後、各地で遺跡が調査され、大きな成果が得られました。この成果は次々と検討され、歴史の事実にして教科書にのせられています。戦前には神武天皇が日本歴史の最初として描写され、教えられるものですが、近年の教科書にはみあたりません。また、穆文、弥生、古墳時代という名称も昔は使われなく、最近の研究の結果です。神武天皇は今から 2600 余り前の天皇として考えられていた当時、石のやじりや斧などのように考えられていたが、雷がおとしたものとみられていたようです。

江戸時代に滋賀県に住んだと言われる木内石亭は「雲根志」という書を著し、古い文物を集めて考えをめぐらしていたようで、考古学(好古学)の先駆者とも言える人物です。

江戸時代以前から好古の歴史をもつていっているので、やはり戦後の研究が大きく影響して教科書に採用されているのです。

## △野洲川という文化財の保護を!!

野洲川改修工事が一段落して私達の脳裏には改修工事の内容よりも、麓川敷の利用計画に関心が向いていると思えます。私共も其の身辺をみる時、4月~10月の水田の域以外には市内各町の神社・寺院の杜しが認められず、あとは野洲川の南北流の堤防に長くつづく竹林や雑木林が最も密度の高い緑地帯だと言えます。現在、跡地利用計画が市を煮つめられています。文化財の立場から次の点を提案したいと思うものです。

- (1) 南北流の外景を變形させないで、雑木林等を残すこと。
- (2) 道路は新設せず、車の乗入れをしないようにすること。
- (3) 水田・畑地の尖地回復以外の利用を最小限とすること。
- (4) 文化ゾーンとして周辺緑地に適す建築物とすること。
- (5) 公園は新設水路内として活用すること。

旧野洲川には種々な動植物が生息、繁茂し豊かな環境を保全しています。今、この堤防を取り壊したり、造成してしまうと、動植物の生態系がかわるだけでなく、今までの気候が変えられる可能性があります。琵琶湖に流れこむ河川は下流域の流れる方向を変え、北へ角度をふります。これは上空の偏西風の影響であるとも言われ、堤防がなくなると風の影響が予想され、自然は手加減しなさい(ノーベル賞授賞の橋本教授言)ことを充分了知しておかねばなりません。

この予見が、不十分なままに検討され工事が実施されること、従来は過程をあり、それが多くの天災といわれ、風水害につながることを知るべきです。一見、おとなしい野洲川、琵琶湖も、私達の行為に「しっぺ返し」としなさいとけ限りません。自然のうら切りという言葉は現実でなく、自然作用を越えた改造に対する結果とみまべさじょう。

自然の教訓を良く知り、野洲川の跡地を利用すべきだと思えます。

埋蔵文化財センターは 第2日曜日も開館。

今まで 日曜は全休でしたが、4月から 9:00~16:00 まで開館します。

昭和57年4月からの調査

- ◎伊勢遺跡(集落跡) 4/12~4/26. 個人農用倉庫. 弥生-平安
- ◎吉身南遺跡(集落跡) 4/21~. マンション建設. 古墳

吉身南遺跡は国鉄宇山駅東口の前でフェンスの中を調査していますので、気軽に立ち寄り下さい。現在、竪穴式住居、溝などを検出中です。そのうちの1棟から滑石製の白玉(装飾品)が30コ出土して、興味深い内容であることが想定できます。

現場事務所 舟山市浮気町 Tel. 0775-83-4997

- ◎吉身中遺跡(集落跡) 4/5~ 船公社庁舎増築 古墳

この遺跡は市教委が57年1月に発見したもので舟山船々公社の増築に伴って、県教委が調査を実施しています。調査では多量の土器と掘立柱式建物、竪穴式住居跡がみつかっています。時代は古墳時代後期で、市役所周辺に大集落の存在が明らかになりました。

この3件以外に本年度は

- 小島遺跡 5/4~ 学校増築 弥生-平安
- 古高遺跡 10月~ 学校新設 "
- 赤野井遺跡 未定 住宅建設 "
- 杉江遺跡 10月~ 河川改修 "

などが計画されています。各處で調査がはじまりましたら御協力頂きますようお願いいたします。

編 集 後 記

4月29日からのゴールデンウィークに特別展を開催したところ多数の方の入場がありました。大勢の見学ありがとうございました。特別展の内容も凝って実施しようと思いましたが、ながなが混雑が多くて展示もパーヒルしません。

ここで、ゴールデンウィークに訪れた皆様にも、早々の夏の特別展をこれから考えます。

夏の特別展をこれから考えます。

(S記)